

保護者と共に歩む 家庭学習の手引き

早寝 早起 朝ご飯

学習にしっかりと取り組むためには、
規則正しい生活が大切です。

- ・ 朝食を食べると、集中して学習に取り組むことができます。
- ・ 睡眠時間を十分にとることで、記憶が整理され、学習内容が定着しやすくなります。また、脳の発達にもよい影響があります。
- ・ テレビやゲーム、スマホ等にふれる時間が長いほど、学習時間や睡眠時間が短くなったり、学習効率が悪くなったりします。

家庭学習の習慣化に向けて

☆ 学年に応じた学習時間を意識しましょう

【学習時間のめやす】

小学校 低学年 **20分** 中学年 **40分** 高学年 **60分**
中学校 1年生 **80分** 2年生 **90分** 3年生 **100分**

※中学生は家庭学習ノート（または問題集）を毎日提出するようにになっています。

☆ 家庭学習の3つのポイントを意識しましょう

- テレビやスマホを見ながら勉強をしない。
- 背筋を伸ばし、よい姿勢で机に向かう。
- 机の上をきれいにしてお勉強する。

☆ 規則正しい生活で学習をサポートしましょう

- 早寝早起きをする。
- 朝食は必ずとる。
- 朝に排便する。
- 好き嫌いをなくす。
- 毎日、自分で学習用具をそろえる。
- テレビやゲーム等は時間を決める。（1日2時間以内）
- 体を動かす時間をつくる。

家庭学習に対する保護者の関わり方

☆ 家庭学習も生活の一部として考えましょう

毎日続けていると、家庭学習が生活習慣として定着します。生活の一部として位置づけましょう。

☆ 子どもの頑張りや成長を認めましょう

子どもたちは、普段の学習の努力やその結果であるテストでの頑張りを認めてもらえるととても喜ぶます。このような体験の積み重ねが学ぶ喜びへとつながっていきましょう。

☆ 勉強に集中できる環境づくりに努めましょう

子どもたちが勉強している時間はテレビを消したり、親も読書や家事に取り組んだりするなど、勉強に集中しやすい環境づくりを家族で考えましょう。

**勉強や宿題などを教えてあげるのではなく、
意欲的に勉強に取り組めるように関わらましょ**

日常生活における学力向上のポイント

日常生活の少しの工夫で身に付く学力や学力向上につながる生活習慣も多くあります。できそうなことを生活に取り入れて、学力向上の一助としてみませんか。

- 家族で読書をする時間をつくる。（低学年は読み聞かせも有効）
- 国語辞典や漢和辞典、その他の事典、図鑑等を身近において、分からないことを調べる。
- 日本地図や世界地図、地球儀を身近において、見聞きした国や地域の場所を調べる。
- 新聞やニュースを見て、親子で時事問題について話し合う機会をつくる。
- 将棋や囲碁、オセロ等の思考をともなうゲームやボードゲーム等のルールの細かい遊びを親子でする。
- 外に出て体を動かしたり、自然や生き物と積極的に触れ合い、くわしく観察したりする。
- 手伝い等、子どもの家庭での役割をつくる。
- 鉛筆や箸を正しく持てるようにする。
- 挨拶や返事を自分から言えるようにする。
「おはよう！」「お休みなさい」「いただきます」
「ごちそうさま」「ありがとう」「すみません」
「行ってきます」「ただいま」「ごめんなさい」など
- 朝の隙間の時間に学習時間を設ける。
※朝の「ちょこっと学習」は、その日の学習の効率を高めることに有効といわれています。

家庭学習の習慣化がもたらす7つの効果

1. 翌日の授業の予習をすることで、**見通しをもって積極的に授業に取り組むことができます。**
2. 授業の内容を復習することで、**学習内容が定着しやすくなり、自信をもって授業に取り組めます。**
3. 家庭学習で授業が分かるようになることは、**自己効力感や自己有用感、自己肯定感が育まれます。**
4. 家庭学習で脳を働かせることは、**いきいきとした充実した生活をつくります。**
5. 生活の中に学習時間が位置付くことで、**生活習慣の向上につながります。**
6. 継続して家庭学習に取り組むことで、**粘り強さや我慢強さ等の忍耐力が養われます。**
7. 家族で家庭学習の習慣化に取り組むことは、**子どもの学習意欲と心の安定を育みます。**

小学校と中学校の学習は、近い将来に社会人として自立するための基礎となるものです。特に、各学年で学ぶ「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「読むこと」「計算すること」は、生きるために欠かすことのできない技能です。山花小中学校では、少人数学級のよさを生かした「個に応じた指導」に取り組み、これらの技能を確実に定着させ、子どもたちの力を高めるため努力しています。さらに、この成果は、家庭と協力することで、何倍にも高められるのです。つまり、「家庭学習の習慣化」が子どもの「生きる力」を育むのです。

この手引きをよく目にする場所に貼り、子どもたちの家庭学習の習慣化が図られるように、学校と家庭で協力していきましょう。

各学年・教科で確実に身に付けたい力

この一覧を参考にして、身に付いていない内容や自信のない内容を各家庭で学習するように声掛けをお願いします。また、学習内容の定着などに不安があれば、担任や教科担任に気軽に相談してください。

習慣づけの【1年生】

「宿題を基本として」「音読も続ける」

- ① ひらがなやカタカナを讀めて書ける。
- ② 助詞の「は・へ・を」を適切に使い分け、文章が書ける。「、」「。」を正しく使うことができる。
- ③ 鉛筆を正しく持って、文字が書ける。
- ④ 80字の漢字が読め、8割の漢字を正しい書き順で書ける。
- ⑤ 100までの数の大小が分かり、20までのたし算・ひき算が正しくできる。
- ⑥ ものの長さや広さ、水のかさを直接比べることができる。
- ⑦ ものの個数を絵や図から読み取ったり、かいたりできる。
- ⑧ 時計から正しく時刻を読み取ることができる。

逃げない子になる【2年生】

「宿題を毎日取り組める」

- ① 160字の漢字が読め、8割の漢字を正しい書き順で書ける。
- ② 順序良くお話をしたり、書いたりすることができる。
- ③ 九九をすらすら言える。
- ④ 3けたのたし算・ひき算ができる。
- ⑤ ものの長さ(mm、cm、m)や体積(mL、dL、L)が分かり、測定できる。
- ⑥ 日、時、分の関係が分かり、正しく使える。
- ⑦ 長方形、正方形、直角三角形、箱の形について分かる。

分岐点を乗り越える【3年生】

「宿題以外にも取り組む」

- ① 200字の漢字が読め、8割の漢字が書ける。送りがなが正しく書ける。
- ② 短い詩が暗唱できる。
- ③ 簡単な「ことわざ」を知っている。
- ④ 主語と述語の意味が分かる。
- ⑤ 国語辞典を正しく引ける。
- ⑥ ローマ字を適切に読み書きできる。
- ⑦ かけ算の筆算ができる。
- ⑧ 定規やコンパスを使って三角形や円が描ける。
- ⑨ 体積・重さ(dL・L、g・kg)が分かる。

9歳の壁を破る【4年生】

「自主的に取り組む」

- ① 202字の漢字が読め、8割の漢字が書ける。
- ② ローマ字を正確に読み書きできる。
- ③ 段落分けができ、「そこで」「ところが」「しかし」「また」などの接続語を使える。
- ④ 漢字辞典を正しく引ける。
- ⑤ 分数と小数の意味がわかる。
- ⑥ わり算の意味を考え、計算できる。
- ⑦ 分度器を使って角や三角形が描ける。
- ⑧ 北海道の様子や特徴がわかる。

小学校

低学年は宿題を中心に！
 中学年は宿題以外も！
 高学年は自主的な家庭学習！

天地の差がつく【5年生】「英語にも慣れ親しむ」

- ① 185字の漢字が読め、8割の漢字が書ける。
- ② 今まで習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤ 割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥ パソコンでローマ字入力ができる。
- ⑦ 47都道府県の位置がわかり、正しく書ける。

中学校生活に希望が持てる【6年生】「新聞を読む」

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ② 分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ③ 歴史上の事件や人物について大体の説明ができる。
- ④ 三権分立など、学習した社会用語の大体の説明ができる。
- ⑤ 世界の主な国々の位置を正しく示すことができる。
- ⑥ 理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
- ⑦ パソコンで、速くローマ字入力ができる。

中学校

毎日コツコツ【1年生】「学習した日に復習を」 ⇒ 中だるみしない【2年生】「目標たてて自主学习」 ⇒ 自分に厳しく【3年生】「進路にむけて受験勉強」

国語

- ① 小学校で習った漢字を、全て読み書きできる。
- ② 中学校の各学年で学習する漢字を読むことができる。
- ③ 根拠を明確にして自分の考えを書いたり、要点をつかんでまとめたりできる。
- ④ 文章を読んで正しく理解し、必要な情報を読み取る(聞き取る)ことができる。
- ⑤ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように話すことができる。
- ⑥ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。

社会

- ① 重要語句、教科書の黒太字が書ける。
- ② 重要語句を自分の言葉で説明できる。
- ③ 各時代の様子、地域の特徴、事象について、自分の言葉で説明できる。
- ④ 資料(グラフ、図など)の読み取りができる。
- ⑤ 「なぜそうなったのか」の理由を多角的・多面的に考えることができる。
- ⑥ 調査活動を行い、結果を図や文章にわかりやすくまとめることができる。

数学

- ① 様々な式の計算ができる。
- ② 簡単な式の性質の説明を書くことができる。
- ③ 各学年の方程式を解くことができる。
- ④ 各学年の関数の式を理解し、その式を求められることができる。
- ⑤ 図形の性質を理解し、簡単な事象の証明を書くことができる。
- ⑥ 図形の面積や体積を求められる。
- ⑦ 事象の確率を求められる。
- ⑧ 資料の傾向を、代表値などを用いた説明を書くことができる。

理科

- ① 正しい観察、実験技能を習得することができる。
- ② 公式を用いて、計算問題を解くことができる。
- ③ 各分野における知識を身に付けることができる。
- ④ 表やグラフを正しく書いたり、読み取ったりできる。
- ⑤ 定規を用いて、正しく作図をすることができる。
- ⑥ 自分の考えを、科学的根拠を用いて、表現することができる。

英語

- ① 英文を正しい発音で読むことができる。
- ② 英単語を正確に書くことができる。
- ③ 自分の考えを英語で伝え、英文で書くことができる。
- ④ 相手の話した情報を聞き取り、理解することができる。
- ⑤ 相手が話した情報に対して、答えることができる。
- ⑥ 長文の内容を読み取るができる。
- ⑦ ネイティブスピーカーと積極的に会話することができる。
- ⑧ 他国の行事や習慣を学び、異文化に対する理解を深めることができる。